

日本語

PS-810
AT(アクティブテンション)
取扱説明書



本取扱説明書は、AT(アクティブテンション)についての説明書です。本製品を機械に取り付けて使用される際は、事前に取り付ける機械の取扱説明書の「安全上のご注意」を読み、十分理解の上でご使用ください。

目次

1. 部品一覧.....	1
2. 部品の組付け.....	3
3. 配線（マシン外装）.....	5
3-1. PS-810-8045,10045.....	5
3-2. PS-810-13085.....	7
4. 配線（電装ケース内部）.....	8
5. ATの調整方法.....	10
5-1. パラメータ設定について.....	10
5-2. プランジャー出量の調整.....	11
6. ATの使用方法.....	12
6-1. AT張力の設定方法.....	12
6-2. 縫い途中で張力を変更する場合の設定方法.....	14
6-3. 縫い途中の張力変更設定の削除方法.....	15

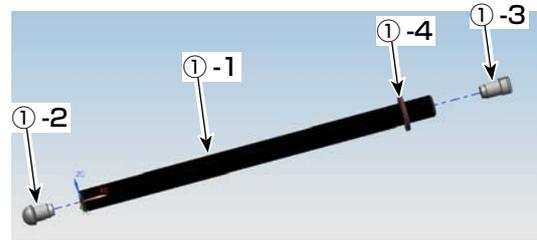
1. 部品一覧



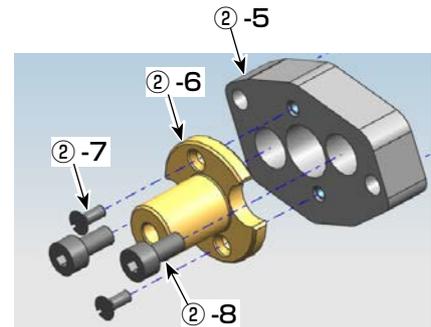
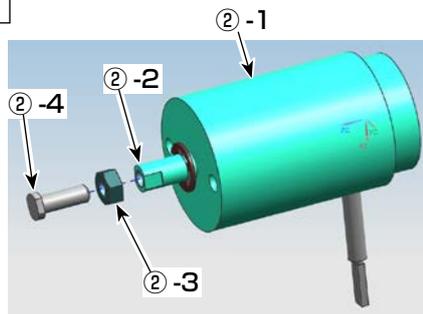
警告

不意の起動による事故を防ぐため、電源とエア源を切ってから行ってください。

① 40244934 糸ゆるめ補助軸

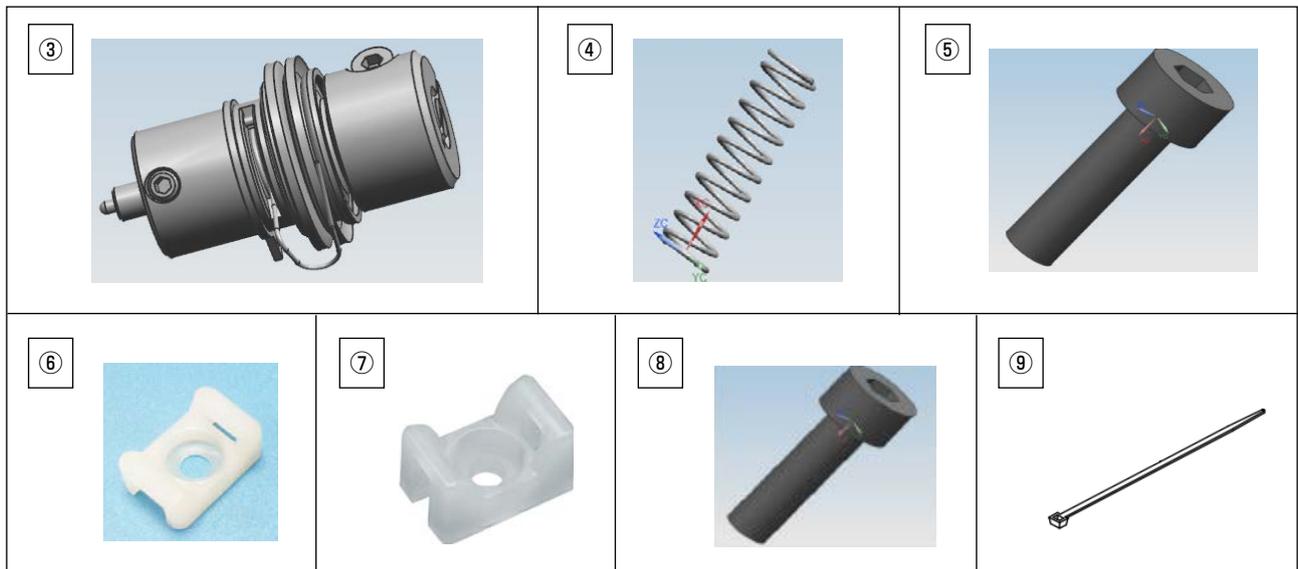


② 40244974 AT ソレノイド



アクティブテンション（組）

番号	品番	品名	数
①	40244934	糸ゆるめ補助軸組	1
①-1	40236683	糸ゆるめ補助軸	(1)
①-2	40236685	糸ゆるめ補助ピン	(1)
①-3	26201004	ガイドピン	(1)
①-4	RE0320000KO	E形止め輪	(1)
②	40244974	ATソレノイド組	1
②-1	40236465	ソレノイド	(1)
②-2	RE0500000KO	E形止め輪	(1)
②-3	NM6040000SN	六角ナット M4 1種	(1)
②-4	40236686	ソレノイドネジ	(1)
②-5	40236680	ソレノイド取付板	(1)
②-6	40236681	左AT軸メタル	(1)
②-7	SM1850600SP	サラコネジ	(2)
②-8	SM6040802TP	ボルトネジ	(2)



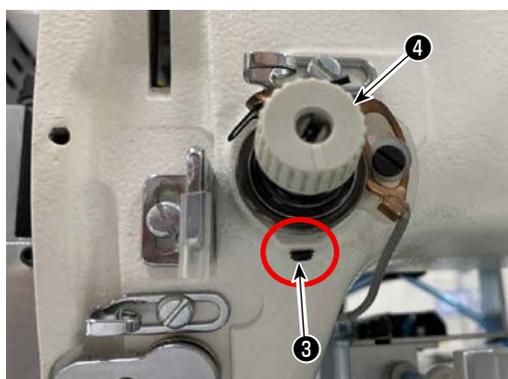
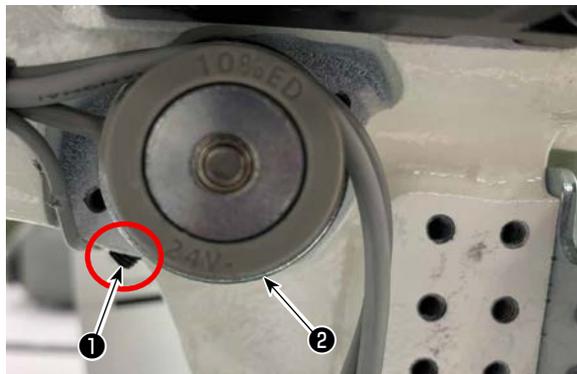
番号	品番	品名	数
③	40172470	糸調子組	1
④	40243919	ATばね	1
⑤	SM6041402TP	ボルト M4 L=14	2
⑥	KX000000210	タイマウント	2
⑦	HX002940000	コティ ベース	1
⑧	SM6041002TN	ボルト M4 L=10	1
⑨	EA9500B0200	ソクセンバンド	6

2. 部品の組付け



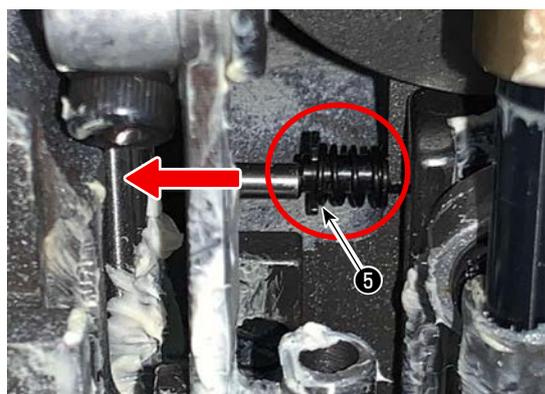
警告

不意の起動による事故を防ぐため、必ず電源とエア源を切ってから行ってください。



1) ねじ①をゆるめ、ねじ①と皿浮かしソレノイド②を取り外します。

2) ねじ③をゆるめ、糸調子④を取りします。



3) 面板を外し、皿浮かしソレノイド糸ゆるめ補助軸組⑤をソレノイド取付穴に取り出します。

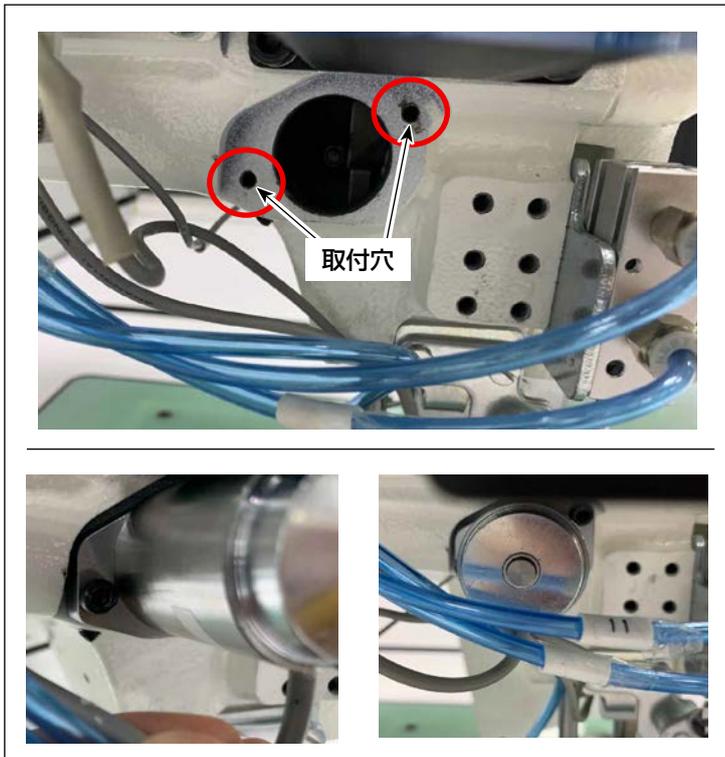


補助軸は矢印の方向に取り出してください。

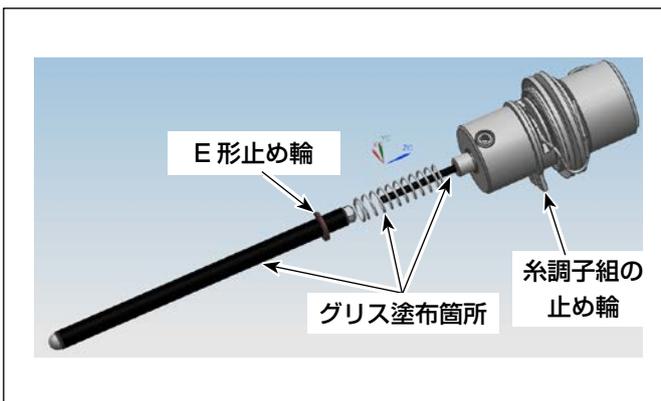


皿浮かしソレノイド糸ゆるめ補助軸組

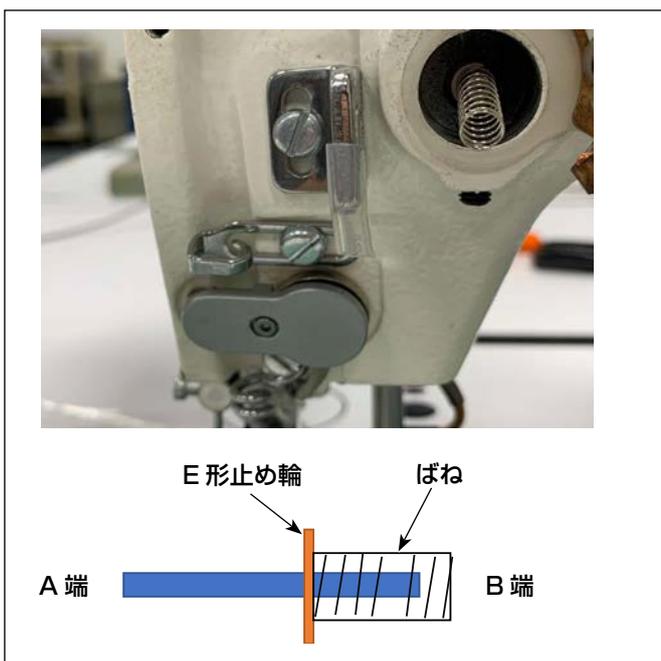
- 4) ATソレノイド組②をねじ⑤（2個）
で取付穴に固定してください。

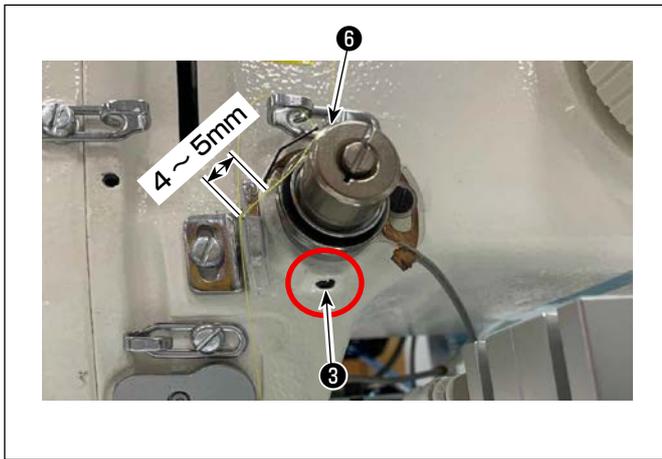


- 5) 付属袋中のグリス（白）を布に少し付けて、
ATシャフト、復位ばねとゆるめピンに薄
く塗ってください。



- 6) 糸ゆるめ補助軸組①の **A** 端を糸調子取付
穴に入れてください。
ばね④を糸ゆるめ補助軸組の **B** 端に掛け
てください。



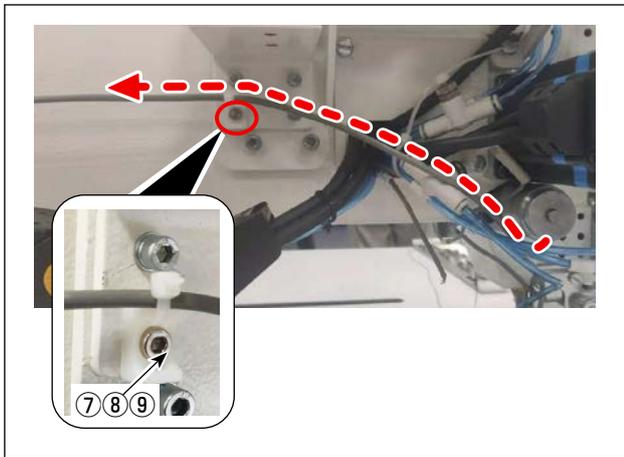


7) AT 糸調子組の止め輪を糸調子取付穴の端面と突き当てて、糸取りばねのストロークが 4 ~ 5mm となる位置でねじ③を固定してください。

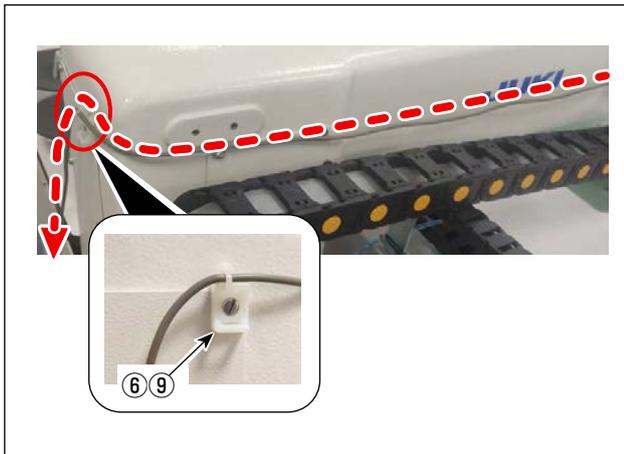
注意
糸調子組の止め輪が端面に突き当たらなければ、AT 糸調子の抱きねじ⑥をゆるめてください。
突き当て以後、抱きねじ⑥を仮締めします。

3. 配線 (ミシン外装)

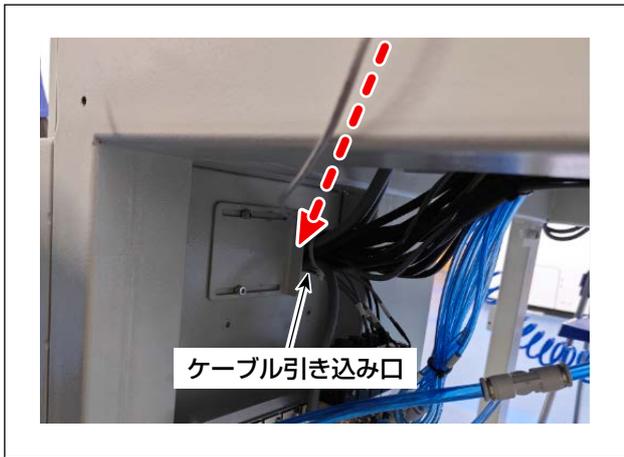
3-1. PS-810-8045, 10045



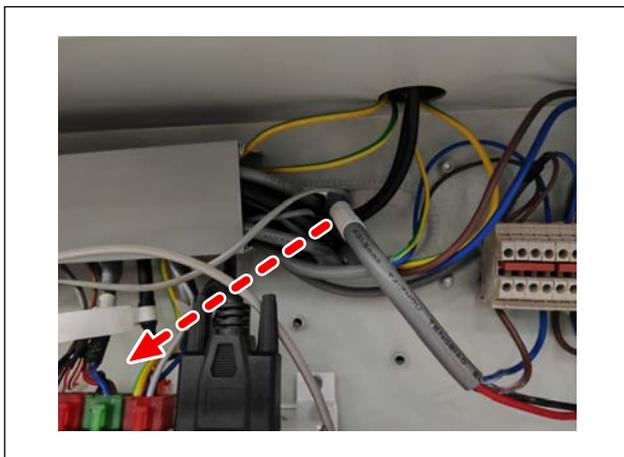
1) AT ソレノイド②のケーブルを左図の赤点線の経路で配線します。
途中、ねじ⑧に変更し、固定ベース⑦を締めます。束線バンド⑨でケーブルを固定します。



2) AT ソレノイド②のケーブルを左図の赤点線の経路で配線します。
途中、ねじをゆるめ、固定ベース⑥を締めます。束線バンド⑨でケーブルを固定します。

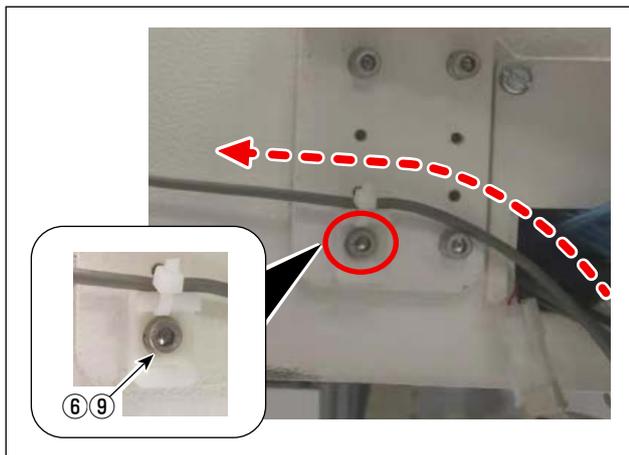


3) 電装ラックのケーブル引き込み口から AT ソレノイド②のケーブルを電装ラック内に引き込みます。

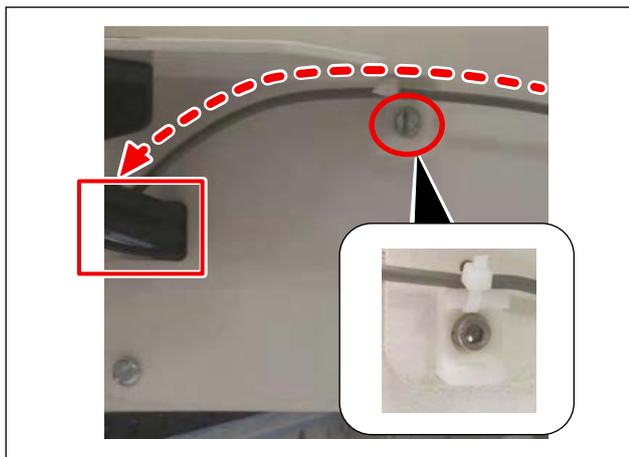


4) AT ソレノイド②のケーブルを左図の赤点線の経路で配線します。

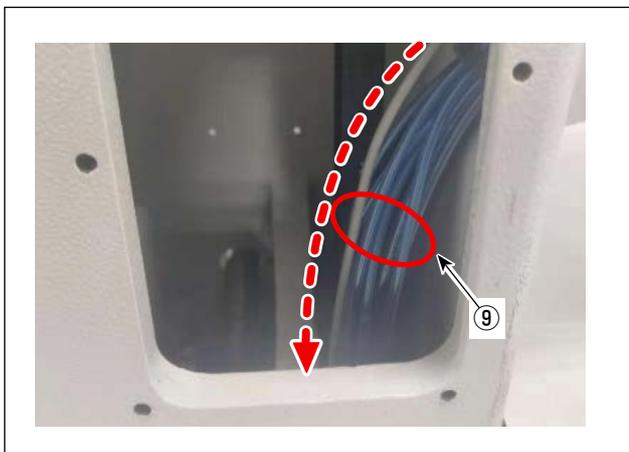
3-2. PS-810-13085



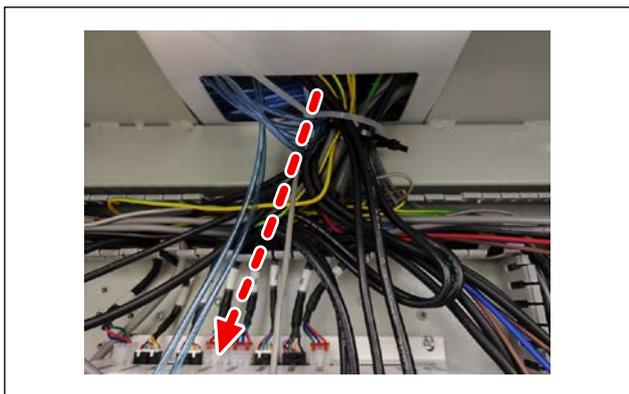
- 1) ATソレノイド②のケーブルを左図の赤点線の経路で配線します。
途中、ねじをゆるめ、固定ベース⑥を締めます。
束線バンド⑨でケーブルを固定します。



- 2) ATソレノイド②のケーブルを左図の赤点線の経路で配線します。
端子側のケーブルを中間部窓口からミシン中に通します。
途中、ねじをゆるめ、固定ベース⑥を締めます。
束線バンド⑨でケーブルを固定します。



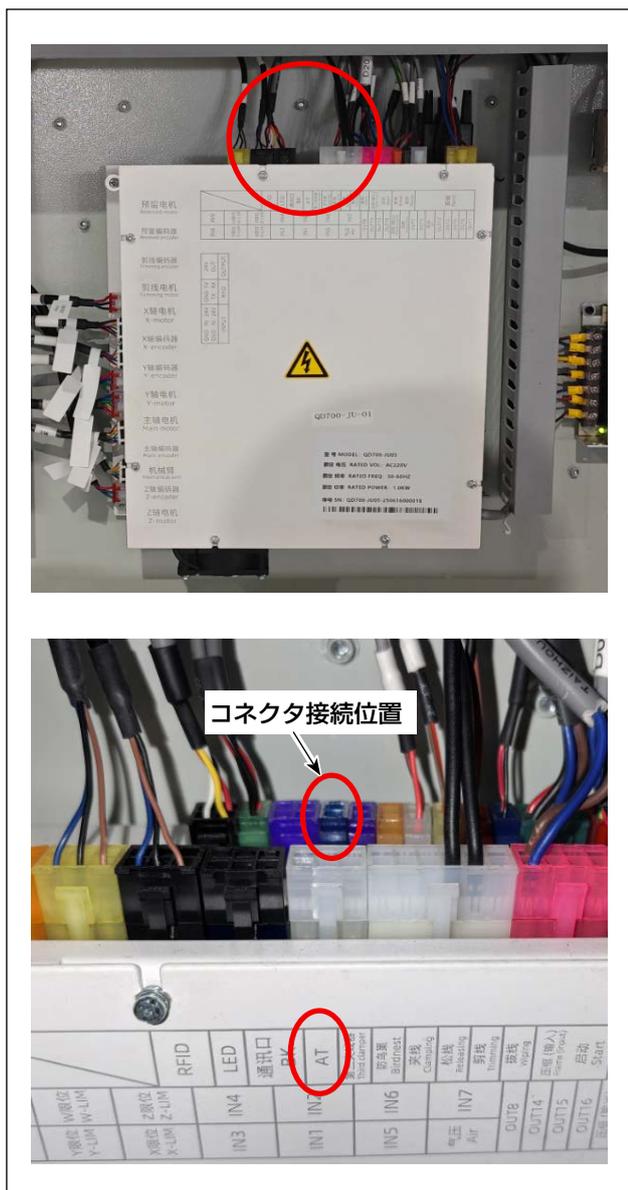
- 3) ATソレノイド②のケーブルを左図の赤点線の経路で配線します。
後ろの窓口から、他のケーブルと束線バンド⑨で固定します。



- 4) ATソレノイド②のケーブルを左図の赤点線の経路で配線します。

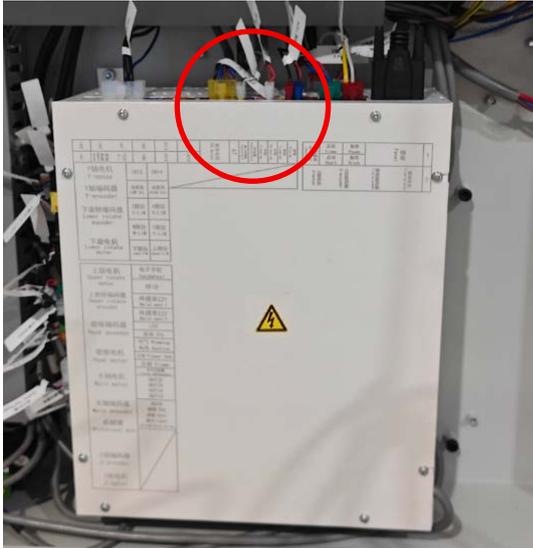
4. 配線 (電装ケース内部)

【標準仕様とレーザー仕様】

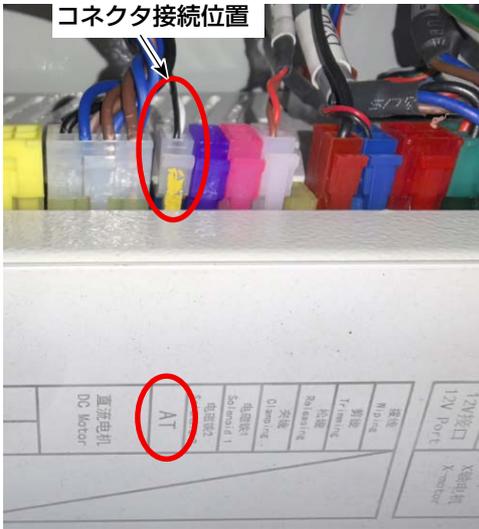


AT ソレノイド②のコネクタを電装ボックスの AT コネクタと接続します。

[回転メス仕様]



AT ソレノイド②のコンネクタを電装ボックスの AT コネクタと接続します。

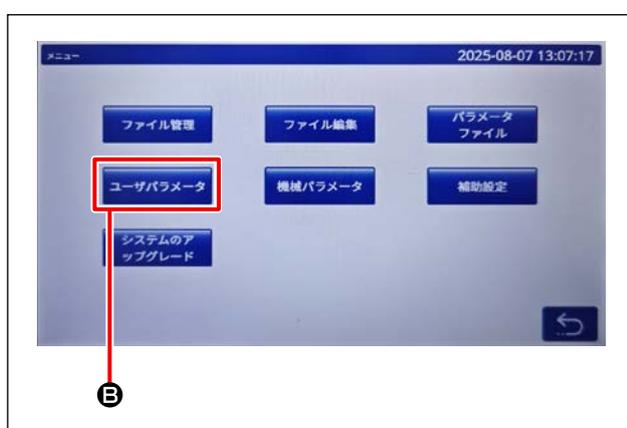


5. AT の調整方法

5-1. パラメータ設定について



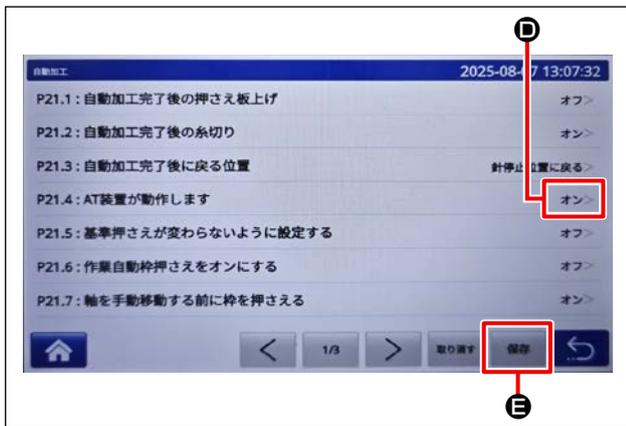
1) ボタン **A** を押します。



2) ボタン **B** を押します。
デフォルト状態ではパスワードがあります。
パスワードは「11111111」です。

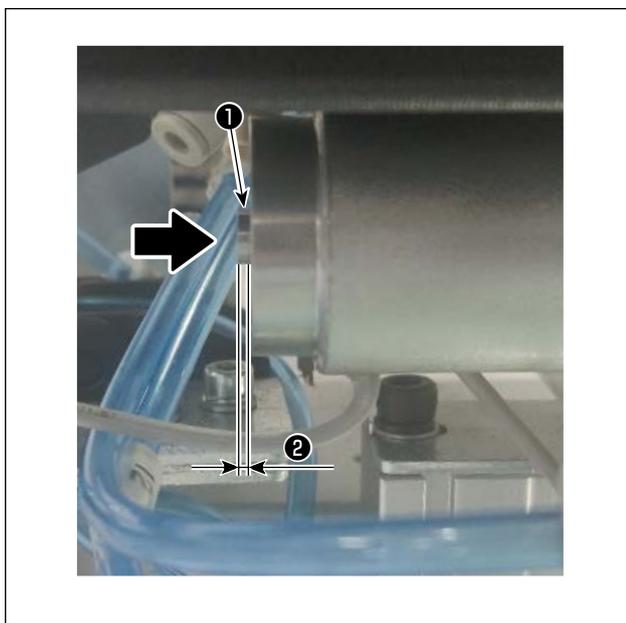


3) ボタン **C** を押します。

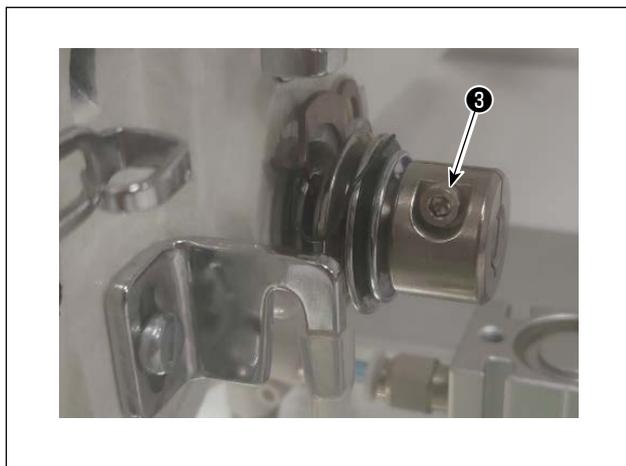


- 4) AT 機能を有効にするため、P21.4 の設定 **D** を「オフ」から「オン」に変更します。設定後、ボタン **E** を押します。

5-2. プランジャー出量の調整



- 1) ソレノイドのプランジャー**①**を中へ押し、プランジャーの出量**②**を測定します。



- 2) AT 糸調子抱きのねじ**③**をゆるめ、プランジャー出量**②**が $1.5 \pm 0.1\text{mm}$ になるまで、抱きの前後位置を調整して、ねじ**③**を締め付けます。

6. AT の使用方法

6-1. AT 張力の設定方法



1) ボタン **A** を押すとテンションを設定できるので、任意の値を入力して試し縫いを行います。縫い目を見て適切なテンション設定値を確認します。



2) その他の設定方法

① 張力設定するパターンを選択します。



② 押さえクランプ **B** を押します。

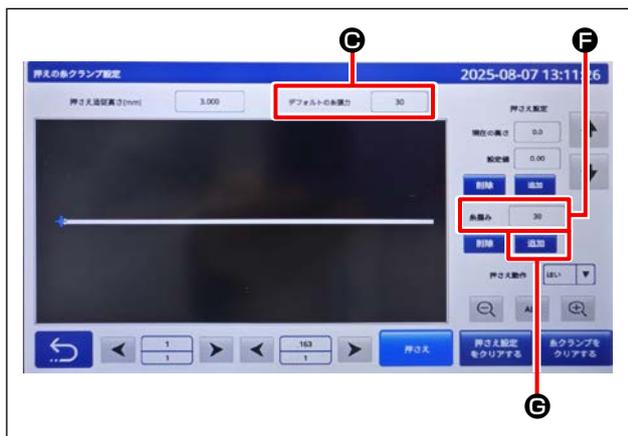


③ デフォルトの糸張力 **C** を押すとテンション設定ができます。

④ 戻りボタン **D** を押してメイン画面に戻ります。



3) メイン画面でリセットボタン **E** を押し、原点復帰させます。



4) 手順 2) と同様に押さえ、テンションの設定画面に入り、手順 1) で確認したテンション設定値を糸つかみ **F** に入力し、追加 **G** を押します。

30

縫い始め 糸つかみ : 30



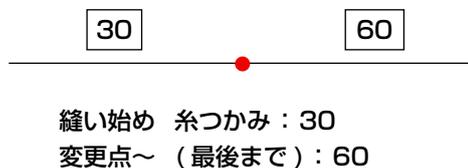
1. デフォルトの糸張力と糸つかみの設定有効範囲は 1 ~ 200(整数のみ)。
2. デフォルトの糸張力の設定は試し縫いで適切なテンションを確認するだけとし生産時は糸つかみを設定してください。

6-2. 縫い途中で張力を変更する場合の設定方法



- 1) 縫い線の途中、変更したい箇所で糸つかみに張力を設定します。

写真の設定の場合



- 2) さらに縫い途中で、張力を変更する場合は糸つかみの張力を設定してください。

写真の設定の場合

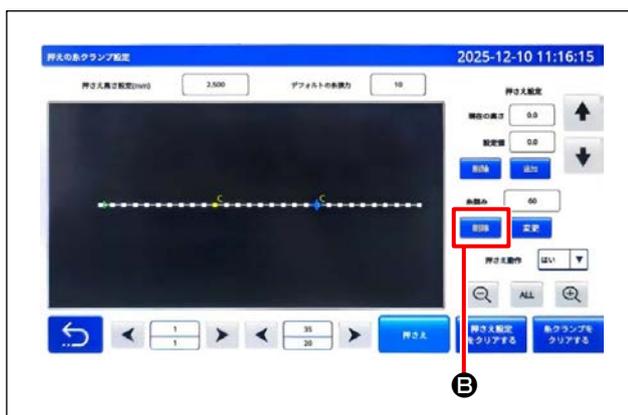


糸つかみで設定した張力は縫製完了まで同じ張力となります。

6-3. 縫い途中の張力変更設定の削除方法



1) 糸クランプをクリアするボタン **A** を押せば、パターン内の個別張力設定を全部消します。



2) 個別の張力設定を削除する場合、十字マーク (+) を設定位置に移動して、削除ボタン **B** を押します。